



平成19年度 決算の状況

～ 愛媛の海運・造船業は活況が続く ～



平成19年度決算のポイント

1. コア業務純益は6年連続で増益となり、過去最高益を更新
経常利益は、初の300億円台に
2. 預金残高・貸出金残高ともに11年連続で増加
3. 有価証券評価益は、株価下落にもかかわらず 1,398億円と地銀
第3位の含み益を保有
4. 連結自己資本比率は11.64%。Tier1比率は9.05%と初の9%台に
「基礎的内部格付手法」の承認(中四国初)
5. 「サブプライム関連」の直接投資なし
6. 20/3期配当は創業130周年記念配当1円を含め8円、
21/3期は普通配当を8円に

平成19年度決算サマリー (P / L)

- **業務粗利益・コア業務粗利益・コア業務純益・経常利益が過去最高益を更新**
- 株価低迷により株式等償却が増加するも信用コストの大幅減少により、**経常利益は初の300億円台に**

平成19年度決算(単体)

(単位:百万円)

	19 / 3	20 / 3	前年度比	増減率
業務粗利益	80,023	82,783	+ 2,760	+ 3.4%
資金利益	73,121	75,859	+ 2,738	
役務取引等利益	6,940	6,638	- 302	
その他業務利益	39	284	+ 323	
(国債等債券関係損益)	(546)	(509)	(+ 37)	
コア業務粗利益(-)	80,569	83,292	+ 2,723	+ 3.4%
経費()	43,846	45,536	+ 1,690	+ 3.9%
人件費	23,726	24,151	+ 425	
物件費	17,905	19,056	+ 1,151	
税金	2,214	2,328	+ 114	
一般貸倒引当金繰入額()	4,454	429	+ 4,883	
業務純益(- -)	40,631	36,817	3,814	9.4%
コア業務純益(- -)	36,722	37,755	+ 1,033	+ 2.8%
臨時損益	15,148	6,338	+ 8,810	
不良債権処理額()	20,260	6,348	13,912	
株式等関係損益	3,793	801	4,594	
その他の臨時損益	1,318	811	507	
経常利益	25,483	30,479	+ 4,996	+ 19.6%
特別損益	1,350	938	2,288	
うち役員退職慰労引当金繰入額()	-	782	+ 782	
うち睡眠預金引当金繰入額()	-	708	+ 708	
税引前当期純利益(+)	26,833	29,540	+ 2,707	
当期純利益	16,533	18,295	+ 1,762	+ 10.7%
経常収益	102,521	108,335	+ 5,814	+ 5.7%

過去最高益を更新

主な増減要因等(前年度比)

業務粗利益・・・前年度比 + 2,760百万円

資金利益 … 事業性・個人向けともに貸出金が順調に増加

経費 … 前年度比 + 1,690百万円

システム投資、店舗関連費用、創業130周年記念事業等により物件費増加
人件費も増加

信用コスト(+)6,777百万円・・・前年度比 9,029百万円

一般貸倒引当金繰入額(前年度比 + 4,883百万円)

429百万円の繰入れ

不良債権処理額(前年度比 13,912百万円)

ランクダウンの減少等

株式関係損益 … 前年度比 4,594百万円

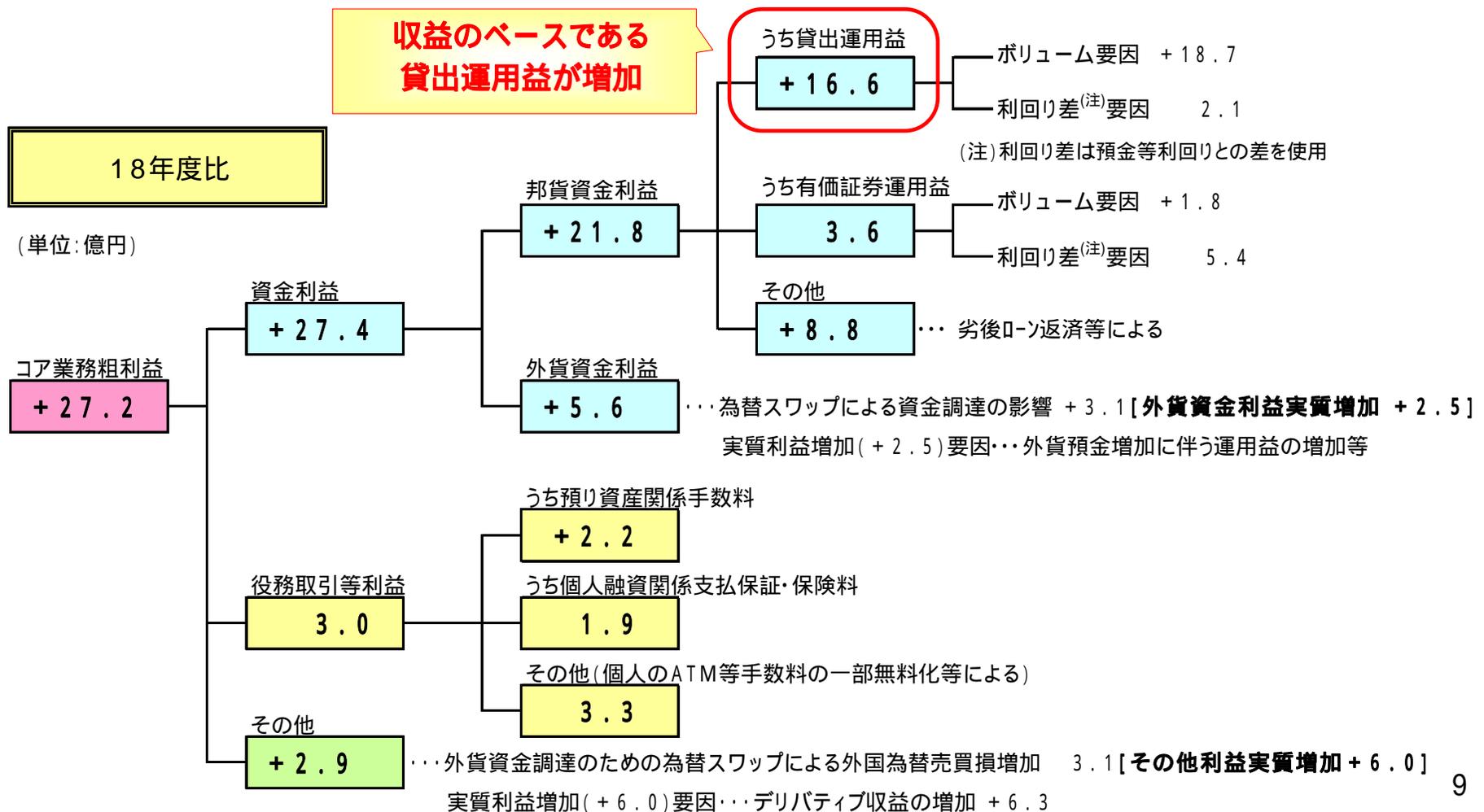
株価低迷による株式等償却が前年度比1,086増加
株式売却益が前年度比3,509百万円減少

特別損益 … 前年度比 2,288百万円

「役員退職慰労引当金」、「睡眠預金引当金」を新設

19年度コア業務粗利益増減要因

- 資金利益 … 固定債投資の多い有価証券は資金調達利回り上昇を吸収できず減益となったものの、**貸出運用益増加等でカバーし大幅増益**
- 役務取引等利益・その他 … 金商法施行や金融市場混乱の中でも預り資産関係手数料は増益確保円高進行等により、デリバティブ収益が増加



平成19年度決算サマリー (B / S)

- 貸出金は前年度比 + 1,297億円 (+ 4.2%)、預金は前年度比 + 691億円 (+ 1.6%) と順調に増加
- 有価証券評価益は、株価下落にもかかわらず1,398億円と地銀第3位の含み益を保有
- **連結Tier1比率は9.05%と初の9%台に**

平成19年度決算

< 単体 >

(単位:億円)

	19 / 3	20 / 3	前年度比	
			前年度比	増減率
貸出金	31,078	32,375	+ 1,297	+ 4.2%
うち事業性貸出金	21,810	22,558	+ 748	+ 3.4%
うち個人融資	8,130	8,482	+ 352	+ 4.3%
うち住宅ローン	5,625	5,967	+ 342	+ 6.1%
有価証券	13,828	13,160	668	4.8%
預金	41,984	42,675	+ 691	+ 1.6%
うち個人預金	27,581	28,518	+ 937	+ 3.4%
預り資産	3,476	3,785	+ 309	+ 8.9%
金融再生法開示債権	1,058	891	167	15.8%
開示不良債権比率	3.29%	2.64%	0.65%	
有価証券評価損益	2,182	1,398	784	35.9%
(期末日経平均株価)	(17,287円)	(12,525円)	(4,762円)	(27.5%)
< 連結 >				
連結自己資本比率	12.54%	11.64%	0.90%	
(連結Tier1比率)	8.13%	9.05%	0.92%	

「基礎的内部格付手法」で算出

- 貸出金は前年度比1,297億円の増加 (+ 4.2%)
好調な船舶関連融資を中心に事業性貸出金が堅調に増加
住宅ローンを中心に個人融資が増加
- 預金は前年度比691億円の増加 (+ 1.6%)
「創業130周年記念感謝定期預金『いよの思い』」等による個人預金の増加が全体を牽引
- 金融再生法開示基準による開示不良債権比率は2.64%まで低下
- 有価証券評価益は1,398億円
株価下落にもかかわらず**地銀第3位の含み益**
- 連結自己資本比率 11.64%
連結Tier1比率は9.05%と初の9%台に